

学力低下の原因は ゆとり教育か!?

～ 反対意見のまとめ～

Rep: 田中優子

まずは確認 その

・「ゆとり教育」とは

- ◆ 1977, 78年 第4次改訂 (小-80年, 中-81年, 高-82年実施)
 - ・「ゆとりと充実」が合言葉
 - ・「ゆとりの時間」新設, 授業時間が約1時間削減
 - ・高校の卒業単位80単位に引き下げ
- ◆ 1989(平成元)年 第5次改訂 (小-92年, 中-93年, 高-94年実施)
 - ・「個性を生かす教育の充実」
 - ・生活科の導入(小), 選択教科の種類拡大
- ◆ 1998, 99年 第6次改訂 (小-中-02年, 高-03年実施)
 - ・「ゆとりの中でいきる力をはくむ」
 - ・学校完全週5日制の実施, 教育内容約3割削減(例) = 3になる
 - ・総合的な学習の時間が新設
 - ・高校の卒業単位が74単位以上, に削減

まずは確認 その

	89年	01年	変化
小国	78.9	70.9	-8.0
小算	80.6	68.3	-12.3
中国	71.4	67.0	-4.4
中数	69.6	63.9	-5.7

・何をもって「学力低下」とするか

- 池田ほか(1989)と荻谷ほか(2001)の調査(荻谷, 2002)
 - ◆ 国語と算数・数学の学力テスト
 - ◆ 平均点の比較(小・中対象)
 - ◆ 10年間(第5次改訂の前後)で全体的に低下
- PISA(2000, 2003の比較)
 - ◆ 小・中第6次改訂前後
 - ◆ OECDによる学習到達度調査(00-32カ国, 03-41カ国)
 - ◆ 読解力: 8位から14位に低下
 - ◆ 数学的リテラシー: 1位から6位に低下
 - ◆ 科学的リテラシー: 2位をキープ

学力低下の原因はゆとり教育?

- ・子どもの学習に影響を及ぼす要因として, 大きく3つの考え方があげられている(市川, 2002).

教育機関がしっかり教えていない(ゆとり教育)

- ・「ゆとり教育」の教育改革路線によって教科が軽視され, 内容や授業時間が減った(西村, 戸瀬, 和田, 荻谷).
- ・「指導より支援」, 「活動中心」, 「子どもの興味・関心の重視」という風潮が強くなり, 知識を教えることが「教え込み」と批判されるようになった(荻谷, 市川).
- ・学校が宿題を出さないという傾向が強くなってきたため, 家庭学習のスキルや習慣がつきにくくなり, 知識・技能の定着がしにくくなった(市川).

教育制度(政策)の変化

- ・大学が入試科目を減らしたために, 受験にない科目の勉強をしなくなった(西村, 戸瀬, 和田).
- ・公立高校が小学区制などをとったため私立校が優位にたち, 受験競争が経済的に上位階層の生徒に限定されることになった.

学力低下の原因はゆとり教育?

社会的な変化による学習意欲の低下

- ◆ 少子化で入試が緩和, 受験圧力が弱まったため学習意欲が減退(和田, 荻谷).
- ◆ 学歴信仰が崩れ, 勉強してよい大学にはいっても, 社会的な成功に結びつくものではないという無力感が広まった(和田, 佐藤).
- ◆ 社会全体的な豊かさや環境・価値観の変化のため, 子どもがこつこつと勉強にとりくむことに価値をおかなくなってきた(汐見, 市川).
- ◆ 享乐的な娯楽が増え, 子どもが学校の学習活動に興味を示さなくなった(市川).
- IEA(国際教育到達度評価学会) 1995-1999年の比較
 - ◆ 数学・理科を「大好き」, 「好き」と回答 数: -5, 理: -1ポイント
 - ◆ 学外で数学を勉強する時間 -11ポイント(統計的に有意に減少)
 - ◆ 学外で理科を勉強する時間 -13ポイント(統計的に有意に減少)

結論

- 「ゆとり教育」と「学力低下」の因果関係は確認されていない.
- 「学力低下」の原因として, 他の要因も考えられる.

「ゆとり教育」が学力低下の原因(学力低下を引き起こした)と断定することはできない.

参考・引用文献

- ・IEA 第3回国際数学・理科教育調査 第2段階調査(TIMSS-R) 国際調査結果報告(速報)(国立教育政策研究所HPより)
- ・市川伸一 2002 学力低下論争 ち(ま新書)
- ・荻谷剛彦ほか 2002 調査報告「学力低下」の実態
- ・荻谷剛彦 2003 なぜ教育論争は不毛なのか 中公新書ラクレ
- ・PISA2003年調査報告(文科省HPより)